

## 新工業団地適地候補選定の進捗状況について

市内工業団地分譲率が96.4%に高まったことから、新たな工業団地整備に向けて平成29年度に適地調査を実施しました。この調査結果をもとに、本年度において適地候補の選定について検討し、一定の方向性をまとめましたので報告します。

### 1. 新工業団地適地調査の結果概要

- (1) 一次選定 山陰自動車道インターチェンジや空港等からの交通アクセス、既存工業団地との近接性などを勘案して、20の候補地を選定。
- (2) 二次選定 近隣条件や地盤条件、造成条件、文化財の存在可能性等の観点から、一次選定リストの中から候補地を6つに絞り込み。
- (3) 適地検討 6つの候補地において、次の評価項目を中心に、現地調査を踏まえて最終選定に向けた検討を行った。
  - ・確保可能な区画面積
  - ・造成工事条件
  - ・用地と近隣の状況
  - ・支障物件の状況
  - ・交通アクセス
  - ・給排水等のインフラの整備状況
  - ・文化財の存在可能性
  - ・開発事業費（概算）

### 2. 新工業団地整備の方向性

- (1) 整備場所 上記6候補地の中から、次の3か所を適地とする。

出雲地域	分譲面積：約 11ha
湖陵地域	分譲面積：約 8ha
斐川地域	分譲面積：約 6ha

3か所の開発を同時並行で行うことは難しいため、今後の企業ニーズ等も踏まえて、優先順位をつけて、まずは1か所を選定し、整備に取り組む。

他の2か所については、将来的な整備候補地と位置づけ、先行整備する工業団地の分譲状況等を見極めたうえで整備を検討する。

- (2) 整備方法 先行造成（用地取得から造成までを市が行い、進出企業に分譲）

### 3. 今後の予定

平成30年度	企業ニーズ等も踏まえ、3か所の中から先行整備する場所を決定
平成31年度～	地権者及び地元関係者等と交渉・協議 基本計画策定⇒測量・設計⇒用地買収、文化財調査⇒造成等工事 平成30年代中頃に整備完了、分譲開始